

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-84	高等学校	公民	政治・経済	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	政経 007-902	最新政治・経済 新訂版		

1. 編修の基本方針

○ 2 条の目標を達成するため、次の通り編修した。

- ・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本文記述に関連した最新の話題や動向を学べるコラム「時事コラム」のほか、現代社会の諸事象に関する学びを深めるコラム「クローズアップ」、図版資料の読解を通して日本の政治・経済に関する諸事象を理解するコラム「Skill UP」をそれぞれ設けた。また、学習効果の高い図版を多数掲載した（第1号）。
- ・ 自主及び自律の精神を養う観点から、抽象的な思想や制度、理論について自ら疑問を解決できるよう、わかりやすく解説するコラム「なるほど Q&A」を設け、自学自習に取り組めるようにした。また、自主及び自律の精神や職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度も養うために、実生活や社会で役立つコラム「Navi」として設けた（第2号）。
- ・ 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、人権分野を詳述した（第3号）。
- ・ 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うために、地球環境問題と国際的な取り組みについての記述を掲載した（第4号）。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国の領土に関する内容を詳述した。また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、日本の対外援助や国際交流についての記述を掲載した（第5号）。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、日本と世界の戦後史を概観できる年表を設けた。また、世界の政治・経済・人口にかかわる資料とその着眼点を示すことで、世界の諸相を正確に概観できるようにした（第1号）。 	前見返し 1～3, p. 1～3

第1部1編1章	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、民主政治の歩みと発展や各国の政治制度について記述した（第1号）。 ・豊かな情操と道徳心を培い、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の福祉の精神を涵養させる観点から、法の意義と役割について詳述した（第1号、第3号）。 	p. 10～19 p. 11
第1部1編2章	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、大日本帝国憲法を起点として、日本国憲法の成立を取り扱い、我が国に立憲主義が定着していく過程と、日本国憲法の基本原理を記述した（第1号）。 ・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神を涵養する観点から、日本国憲法の定める基本的人権について記述した（第3号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う観点から、表現の自由や平等権・生存権の保障について、自ら疑問を解決できるようにわかりやすく解説したコラムを設けた（第1号、第2号）。 ・自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、性的少数者の権利や外国人の人権について解説した本文、コラムを設けた（第3号）。 ・自主及び自律の精神を養う観点から、諸権利を自分事として捉え、身近な暮らしと紐づけながら考えることができるように、請願権の役割と意義、情報化社会における人権をそれぞれコラムとしてまとめた（第2号）。 ・他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、平和主義の理念とこんにちに至る我が国の歩みを記述した（第5号）。 	p. 20～23 p. 24～35 p. 24, 29, 30 p. 28, 35 p. 31, 33 p. 36～41
第1部1編3章	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、我が国の統治機構について記述した（第1号）。 	p. 42～50

	<ul style="list-style-type: none"> ・正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる観点や、今後裁判員に選出されたときの参考に資するように、司法の役割や裁判の流れなどを記述した（第1号、第3号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、持続可能な地域社会のあり方を探究するうえで必要となる基礎知識を複数資料の読解を通して把握できるように、日本の一極集中の現状と課題に関する特集を設けた（第1号）。 ・個人の価値の尊重や自主及び自律の精神を養う観点から、選挙制度と投票行動の意義について扱った。とくに、若年層が選挙に参加する意義についてはコラムを設けた（第2号）。 	<p>p. 46～47</p> <p>p. 51</p> <p>p. 54～57</p>
<p>第1部2編1章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、経済活動の意義と経済思想の変遷、金融・財政など、経済理論について十分に記述した（第1号）。 ・自主及び自律の精神を養う観点から、需給曲線・供給曲線やGDP、日本銀行の金融政策のしくみといった理論について、自ら疑問を解決できるようにわかりやすく解説したコラムを設けた（第2号）。 	<p>p. 58～81</p> <p>p. 64～65, 71, 77</p>
<p>第1部2編2章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、中小企業・農業、労働問題、社会保障問題など、日本経済の特質と国民生活について十分に記述した。また、社会保障の單元では、自分のライフステージと照らし合わせながら年金制度のしくみを学習できるコラムを設けた（第1号）。 ・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うために、とくに四大公害以降の公害関係法整備、循環型社会の形成に向けてのあゆみを記述した（第4号）。 ・職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う観点から、労働問題と労働者の権利について詳述した。また、求人票の見方や労働問題については特集ページを設け、とくに労働問題についてはイラストを交えて具体的な事 	<p>p. 86～105</p> <p>p. 92～93</p> <p>p. 94～99</p>

	例を紹介し、実際に巻き込まれてしまったときの解決の手がかりとなるように工夫した（第2号）。	
第1部3編	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、日本の諸課題にかかわる事例を記述した。また、自主及び自律の精神を養う観点から、諸課題の事例を踏まえた考察を促すための問いかけを設けた（第1号、第2号）。 	p. 108～119
第2部1編1章	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、さらに他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、国家間の政治における動向を記述した（第1号、第5号）。 生命を尊ぶ観点から、民族問題、難民問題、軍拡・軍縮問題についてはとくに詳述した（第4号）。 我が国と郷土を愛する観点から、戦後の日本外交と、PKO、ODA などによる貢献について具体的に記述した。また、我が国の領域についても地図を示して具体的に記述した（第5号）。 	<p>p. 120～133</p> <p>p. 128～133</p> <p>p. 134～135</p>
第2部2編1章	<ul style="list-style-type: none"> 自主及び自律の精神を養う観点から、比較生産費説や円高・円安のしくみといった理論について、自ら疑問を解決できるようにわかりやすく解説したコラムを設けた（第2号）。 	p. 136, 139
第2部2編2章	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、グローバル化が進む国際経済の動向について記述した（第1号）。 自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うために、地球環境問題および資源エネルギー問題について記述した（第4号）。 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、我が国のODAによる貢献について記述した（第5号）。 	<p>p. 140～149</p> <p>p. 150～151</p> <p>p. 152～153</p>

第2部3編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うとともに、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度をそれぞれ養う観点から、地球環境問題および資源エネルギー問題を含む国際社会の諸課題に関する事例を記述した。また、自主及び自律の精神を養う観点から、諸課題の事例を踏まえた考察を促すための問いかけを設けた（第1号、第2号、第4号、第5号）。 	p. 155～161
後見返し	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、世界の政治・経済・人口にかかわる資料とその着眼点を示すことで、世界の諸相を正確に概観できるようにした（第1号）。 	後見返し4

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第五十一条三項（社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと）に則して、本文記述や課題例など教科書全体を通じて、生徒が物事を多面的に理解・解釈し検討を重ねていけるよう、とくに配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-84	高等学校	公民	政治・経済	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	政経 007-902	最新政治・経済 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

○全体を通じて、原理について学び、これを基礎に、生徒がより理論的・発展的に理解・把握できるように、以下の点について配慮した。

- 1) 生徒が課題意識をもって本文を読み進めることを可能にするとともに、単元の主題を理解できるように、各単元の冒頭に問いかけ文を設けた。
- 2) 重要用語や難解な専門用語については、注を多用し、丁寧に解説した。
- 3) 生徒が社会的事象に対する客観的かつ公正なものの見方や考え方ができるように、統計資料を豊富に掲載し、また理解の助けとなるように、適宜解説を付けた。
- 4) 抽象的な思想や制度、理論について自ら疑問を解決できるように、わかりやすく解説する「Q & A」を設けた。
- 5) 学習内容が実生活・実社会に関連付けられるように、生徒にとって身近で具体的な話題を多く取り上げた。また、時事的な事例も「時事コラム」を中心に積極的に扱った。
- 6) 社会に出てからも活用できるような知識・姿勢を、コラム「Navi」で扱った。
- 7) 現代社会の諸事象に関する学びを深めるコラム「クローズアップ」を設けた。
- 8) 図版資料の読解を通して日本の政治・経済に関する諸事象を理解するコラム「Skill UP」を設けた。
- 9) 社会のあり方にかかわる情報を適切かつ効果的に読み取る基礎技能を養う「Check」、本文内容を踏まえつつ多角的・多面的な考察・構想を促す「Try」をそれぞれ配置した。
- 10) 領土問題については国内外の事例を紹介したうえで、日本に関する問題の所在と平和的解決が模索されていることを、地図を交えて詳述した。
- 11) 公民的素質を養うために、全編を通じて生徒の問題意識に訴えかける文章を多用したほか、平和と人権を重視する視点を貫いた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1部 現代日本の政治・経済	A 現代日本における政治・経済の諸課題	p. 8-119	36
第1編 現代日本の政治	(1) 現代日本の政治・経済	p. 8-55	17
第1章 現代国家と民主政治	〃	p. 8-19	3
第2章 日本国憲法と基本的人権	〃	p. 20-41	8
第3章 日本の政治制度と政治参加	〃	p. 42-57	6
第2編 現代日本の経済	〃	p. 58-105	14
第1章 現代の経済社会	〃	p. 58-81	8
第2章 現代の日本経済と福祉の向上	〃	p. 82-105	6
第3編 現代日本における諸課題の探究	(2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探究	p. 106-119	5
第2部 現代の国際政治・経済	B グローバル化する国際社会の諸課題	p. 120-161	18
第1編 現代の国際政治	(1) 現代の国際政治・経済	p. 120-135	5
第1章 国際社会と国際法	〃	p. 120-135	5
第2編 現代の国際経済	〃	p. 136-153	8
第1章 国際経済の動向と課題	〃	p. 136-153	8
第3編 国際社会における諸課題の探究	(2) グローバル化する国際社会の諸課題の探究	p. 154-161	5
		計	54